

データセンター要件書

1 基本要件

- (1) システムを 24 時間 365 日継続的に維持管理できる設備機能を備えており、災害や事故、セキュリティ面の対策を行う設備、機能、手続きを備えていること。
- (2) システムが必要とする電源、ラック設備などのファシリティ設備を提供できること。

2 立地条件

- (1) 日本国内にあること。
- (2) 建物は地震による液状化、風水害及び落雷等の自然災害による被害を受ける可能性が低い地域にあること。

3 建物要件

- (1) 新耐震設計基準に基づく設計であり、震度 6 強相当の地震に耐えうる構造の建物であること。
- (2) 建築基準法に規定する耐火建築物であること。
- (3) 建築基準法、消防法に規定する非常用設備を有すること。
- (4) 避雷設備を有し、雷サージによる電気設備機器の破損を防止できるような構造であること。

4 設備要件

(電源供給設備)

- (1) 電力会社等より安定的に電力供給されていること。
- (2) 建物構内の電源設備はラックまで 2 系統以上の冗長構成となっていること。
- (3) 建物の電源設備の法定点検及び工事の際においても、機器の停電時対策をとる必要がないこと。
- (4) 停電時にシステムを運用するために十分な電源容量を持つ非常用自家発電装置を備えていること。
- (5) 停電時に非常用自家発電装置が安定的に起動するまでの間、瞬断するこ

となくシステムに十分な電力供給が可能な無停電電源装置を設置していること。

(空調設備)

- (1) コンピュータシステムの予防保全のため、サーバ室の環境は、機器の稼動に適切な一定の温度、湿度を保つことができること。

(防災設備)

- (1) 消防法に定められた建築構造、及び防火・防災設備が確立されていること。
- (2) 火災時に備え、適切な消火設備を設置していること。
- (3) サーバ室内の消火設備については、水による消火を避けるため、ガス消火設備等を有していること。
- (4) 建築基準法施行令に規定する排煙設備を設置していること。

(サーバ室設備)

- (1) サーバ室、ラック間は十分な広さが確保され、保守・点検作業に必要な作業スペースが十分確保されていること。
- (2) 離れたラック間の配線及び電源配線は、床下配線等により、容易な敷設が可能であること。
- (3) ラックには 100V、200V の電源系統を敷設することが可能であること。
- (4) 当該機器設置室専用の分電盤を室内に準備していること。
- (5) 保守用コンセントが設置されていること。
- (6) サーバ室及びデータ等保管設備には、情報システムの運転に必要な水設備は設置していないこと。

(セキュリティ設備)

- (1) データセンターに認定された所定の手続き（通常・緊急時）を済ませ、許可された者以外は入館できないこと。
- (2) 常時利用する入退口には IC カード、生体認証、監視カメラ等の防犯設備を設置していること。
- (3) 建物及び機械室の人の出入りを監視する設備が設置されていること。
- (4) 建物及び機械室の防災設備及び防犯設備の作動を監視する設備が設置されていること。
- (5) 電源設備及び空調設備の稼動状況を監視する設備が設置されていること。
- (6) 通信回線の利用状況、障害等を監視する設備が設置されていること。

以上